

報道関係者 各位

令和 6 年（2024）5 月 23 日

トラスコ中山株式会社

証券コード 9830

2025 年版「トラスコ オレンジブック」より商品の CO2 排出量を掲載！

機械工具卸売商社のトラスコ中山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：中山哲也）は、同社が発刊するプロツール総合カタログ、2025 年版「トラスコ オレンジブック」より全掲載品目の代表商品について、製造時における CO2 排出量を掲載することを決定いたしました。

■概要

トラスコ中山株式会社では、モノづくり現場で必要とされる、あらゆるプロツールを掲載したカタログ「トラスコ オレンジブック」を年間約 16 万部発刊しております。現在弊社では、全取扱いアイテムの CO2 排出量の算出を進めており、2025 年版「トラスコ オレンジブック」では、掲載商品 40 万アイテムの代表商品（7 万 5,382 アイテム）の製造時における CO2 排出量を算出し、掲載することを決定いたしました。製造元で CO2 排出量を把握されている商品に関しては、製造元の算定値を収集し、算定されていない場合は、CO2 排出量の算定に必要な商品ごとのエネルギー使用量や原材料使用量の情報をもとに、boost technologies 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役 青井 宏憲）が提供する「boost Supplier」を使用して算定いたします。また算定に必要な情報を得られない場合には、参考値として弊社が簡易算定した数値を掲載いたします。



■目的

ここ数年で世間のカーボンニュートラルに関する関心が高まりつつあり、金融庁は東京証券取引所プライム上場企業を対象に温暖化ガス排出量の開示を義務づけることを検討しています。この開示対象は自社が排出する CO2 だけでなく、調達や廃棄など仕入れた商品に関わる CO2 排出量（スコープ 3）も含まれます。ユーザー様が事業活動における CO2 排出量を算定する際、もっとも大きな割合を占めるスコープ 3 は、上流からの情報提供が必要となる為、算定の難易度も上がります。弊社では、「事業活動を通じた環境への取組み」を重要課題の一つに設定し、自社のみではなく、弊社が取扱う全ての商品の CO2 排出量を可視化することで、製品を使用するユーザー様の環境負荷軽減にも取り組み、日本の製造業の環境活動に貢献することを目指しています。得意先様やユーザー様が 2025 年版「トラスコ オレンジブック」に掲載されている CO2 排出量を見て、商品を選定・購入できるようになることでモノづくり現場の脱炭素化を支援していきます。

プレスリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので予めご了承ください。

「がんばれ!!日本のモノづくり」を企業メッセージとし、プロツールの供給を通じて、日本のモノづくりに貢献します。

事業拠点：国内拠点 89 か所 本社 2 か所／国内営業拠点 59 か所／国内物流拠点 28 か所

海外拠点 5 か所 現地法人：トラスコナカヤマ タイランド、トラスコナカヤマ インドネシア

仕入先開拓オフィス：ドイツオフィス、台湾オフィス、タイオフィス

発行責任者 | トラスコ中山株式会社 経営企画部 部長 高田 真由美

お問い合わせ | 経営企画部 広報 I R 課 課長 吉見 今日子、伴野 瑞希

TEL 03-3433-9840 MAIL info@trusco.co.jp URL <https://www.trusco.co.jp/>



報道関係者 各位

令和 6 年 (2024) 5 月 23 日

トラスコ中山株式会社

証券コード 9830

■表示方法

2025 年版「トラスコ オレンジブック」では、算定方法別に 3 段階に色分けし掲載を予定しております。どのように算定した値なのかが視覚的にわかるように表示していきます。(ピクトデザインはイメージです)



製造時CO2排出量算定方法	表示ピクト (単位: kg-CO2)
【1】 メーカー様が自社で算定	CO2 000.1
【2】 boost Supplierで算定	CO2 000.1
【3】 IDEAを活用しトラスコが簡易算定	CO2 000.1

■今後の予定

今後は、取扱商品の検索やお取引先様が発注・見積を行える弊社総合サイト「トラスコ オレンジブック.Com」にも同様に CO2 排出量データを表示することで、購入履歴からお客様の購入した商品の CO2 排出量をレポートとして取り出せるサービスを検討していきます。

■boost technologies 株式会社について

持続可能な未来を次世代に残すため、Technology の力で NET-ZERO の実現を目指す。シェア No.1*の サステナビリティ ERP (ESG 情報開示ソリューション、GHG 排出量可視化ソリューション)「boost Sustainability Cloud」を提供。構成アプリケーションとして、CO2 排出量の見える化・カーボンオフセット・報告レポート等の GX (グリーン・トランスフォーメーション) を促進する「boost GX」、サプライチェーン全体の CO2 排出量の見える化を実現する「boost Supplier」、ESG の開示項目を見える化し ESG パフォーマンス向上につなげる「boost ESG」、CO2 フリー電力等の調達や供給を可能とする「boost Energy」を展開。また、サステナビリティ領域のコンサルティングサービスも提供しており、NET-ZERO/ESG リーダーの SX (サステナビリティ・トランスフォーメーション) を一気通貫で支援しています。

<会社概要>

会社名: boost technologies 株式会社

所在地: 東京都品川区大崎一丁目 6 番 4 号新大崎勤業ビルディング 10 階

設立: 2015 年 4 月 15 日

代表者: 代表取締役 青井 宏憲

資本金: 1 億円 (2023 年 6 月 30 日時点)

事業内容: boost Sustainability Cloud (boost GX、boost Supplier、boost ESG、boost Energy) の開発運営
コーポレートサイト: <https://boost-tech.com/>*デロイトトーマツミク経済研究所:「環境経営を推進する ESG 情報開示ソリューション市場動向 2022 年度版 (2023 年 2 月発行) <https://mic-r.co.jp/mr/02670/>」 ESG 情報開示ソリューション全体のベンダー売上/シェア推移、GHG 排出量可視化ソリューションのベンダー売上/シェア推移

「がんばれ!!日本のモノづくり」を企業メッセージとし、プロツールの供給を通じて、日本のモノづくりに貢献します。

事業拠点: 国内拠点 89 か所 本社 2 か所/国内営業拠点 59 か所/国内物流拠点 28 か所

海外拠点 5 か所 現地法人: トラスコナカヤマ タイランド、トラスコナカヤマ インドネシア

仕入先開拓オフィス: ドイツオフィス、台湾オフィス、タイオフィス

発行責任者 | トラスコ中山株式会社 経営企画部 部長 高田 真由美

お問い合わせ | 経営企画部 広報 I R 課 課長 吉見 今日子、伴野 瑞希

TEL 03-3433-9840 MAIL info@trusco.co.jp URL <https://www.trusco.co.jp/>